

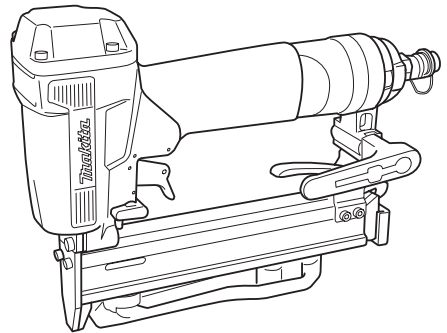
Makita

取扱説明書

エアタツカ

4mm モデル **AT425A**

10mm モデル **AT1025A**



このたびはエアタツカをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	8
・ 別販売品のご紹介	9
・ 使い方	14
・ トリガロック装置	14
・ コンプレッサの選定について	14
・ エアホースの選定について	14
・ コンプレッサ・エアホースの保管・点検	15
・ ステープルの装てんについて	15
・ エアホースの接続	16
・ ステープルの打ち込み深さの調整について	16
・ 空打ち防止機構について	17
・ 打ち込み方法について	17
・ 排気の方角について	17
・ ステープル詰まりの直し方	18
・ フックについて	18
・ 保守・点検について	19
・ 作業後の保管	19
・ 純正オイルの使用	19
・ ご修理の際は	19

主要機能

主要機能 \ モデル	AT425A	AT1025A
使用空気圧力	0.39 ~ 0.69 MPa (4 ~ 7 kgf/cm ²)	
使用ステーブル (mm)	13、16、19、22、25	
ステーブル装てん数	100 本	
質量	1.0 kg	
本製品寸法	長さ 253 mm × 幅 51 mm × 高さ 177 mm	
使用ホース内径	φ 6.5 mm 以上	





- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本製品の取扱知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本製品を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステープル打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じのステープルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ ステープルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステープル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本製品に刻印や溶接などの改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は 0.39 ~ 0.69 MPa (4 ~ 7 kgf/cm²) の範囲内で使用してください。
 - ・ 高過ぎる圧力は、本製品損傷による事故の原因になります。
9. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
10. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
11. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
12. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じのステープルがあたりけがをする原因となります。
13. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ ステープルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
15. 射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

⚠ 警告

17.エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

18.次の場合は、本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - ステープルを装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本製品を持って移動する場合。

19.十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

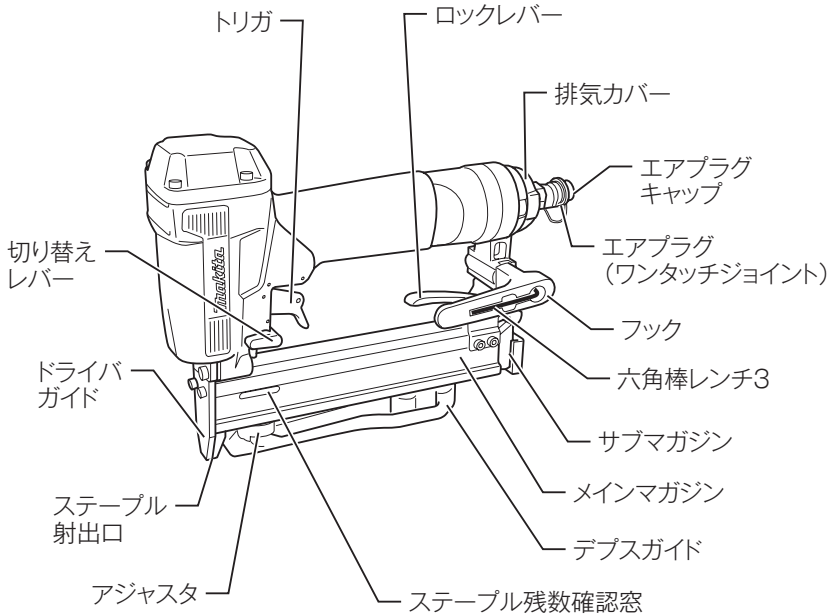
20.アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
- ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な本製品を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、ステーブルがはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本製品に顔などを近づけないでください。
 - ・ ステーブルの上や木の節などに当たった場合、本製品が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本製品の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本製品およびコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ 本製品およびタンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本製品の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 油サシ (タービン油 JIS 2種 ISO VG32)
- ・ セフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒レンチ 3 (本製品取付)
- ・ プラスチックケース (モデル AT425AK、AT1025AK のみ)

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ エアホース 30 m
部品番号：A-33342
- ・ 一般圧タフリール 30 m
部品番号：A-49236
部品番号：A-49258（本体のみ、ホース不付）
- ・ スプレーオイル
部品番号：A-46121

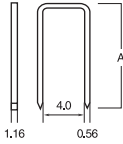


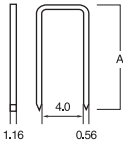
- ・ プラスチックケース
部品番号：824566-4



別販売品のご紹介

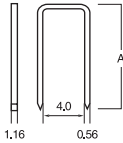
・ ステープル

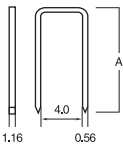
種類	ステープル (幅 4 mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80024	F-80037	F-80040	F-80053	F-80066
形式	413J	416J	419J	422J	425J
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT425A				

種類	ステープル (幅 4 mm)			
材質	鉄 (白)			
形状				
A (長さ mm)	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80079	F-80082	F-80095	F-80101
形式	416J 白	419J 白	422J 白	425J 白
連結本数 (本)	100			
1 ケース入数 (本)	5,000			
適用モデル	AT425A			

★印のステープルは石こうボードなどの軟質材料用。

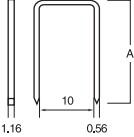
別販売品のご紹介

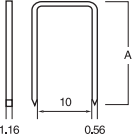
種類	ステープル (幅 4 mm)				
材質	ステンレス				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80442	F-80114	F-80127	F-80130	F-80143
形式	413JS	416JS	419JS	422JS	425JS
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT425A				

種類	ステープル (幅 4 mm)		
材質	ステンレス (白)		
形状			
A (長さ mm)	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80156	F-80169	F-80172
形式	419JS 白	422JS 白	425JS 白
連結本数 (本)	100		
1 ケース入数 (本)	5,000		
適用モデル	AT425A		

★印のステープルは石こうボードなどの軟質材料用。

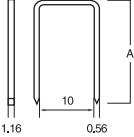
別販売品のご紹介

種類	ステープル (幅 10 mm)				
材質	鉄				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80262	F-80275	F-80288	F-80291	F-80307
形式	1013J	1016J	1019J	1022J	1025J
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT1025A				

種類	ステープル (幅 10 mm)		
材質	鉄 (白)		
形状			
A (長さ mm)	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80455	F-80468	F-80471
形式	1019J 白	1022J 白	1025J 白
連結本数 (本)	100		
1 ケース入数 (本)	5,000		
適用モデル	AT1025A		

★印のステープルは石こうボードなどの軟質材料用。

別販売品のご紹介

種類	ステープル (幅 10 mm)				
材質	ステンレス				
形状					
A (長さ mm)	13	16	19	22 ★	25 ★
部品番号	F-80310	F-80323	F-80336	F-80349	F-80352
形式	1013JS	1016JS	1019JS	1022JS	1025JS
連結本数 (本)	100				
1 ケース入数 (本)	5,000				
適用モデル	AT1025A				

★印のステープルは石こうボードなどの軟質材料用。

使い方

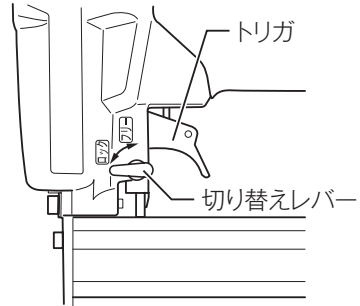
トリガロック装置

⚠ 警告

ステープルを打つ時以外は、必ずトリガをロックし本製品からエアホースをはずしてください。

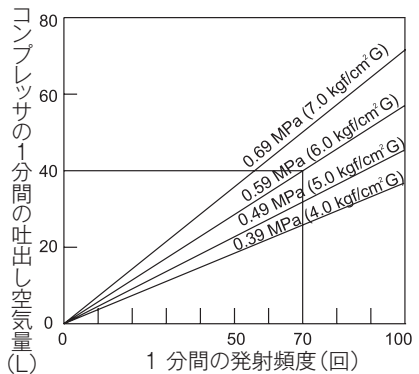
- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

- ・ 本製品はトリガロック装置を装備しています。切り替えレバーをロック（固定）の位置に合わせれば、トリガをロックすることができます。このとき切り替えレバーが確実にセットされていることを確認してください。



コンプレッサの選定について

- ・ 本製品を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。
- ・ 右図は本製品での発射頻度、レギュレータ（減圧弁）の打ち込み深さ調整とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が0.59 MPa (6.0 kgf/cm²G) で、発射頻度が1分間に約70回ですと、吐出し空気量40 L/min (L/分) 以上のコンプレッサが必要です。



エアホースの選定について

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
※内径φ 6.5 mm 以上、長さ 30 m 以下のエアホースを使用することを目安に選定してください。

注

- ・ ステープルの発射頻度にくらべコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

使い方

コンプレッサ・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンク内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本製品の能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱（60℃以上）、薬品（シンナー、強酸、強アルカリなど）および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

ステープルの装てんについて

⚠ 警告

ステープルを装てんする場合は必ずトリガをロックし本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると、事故の原因になります。

⚠ 注意

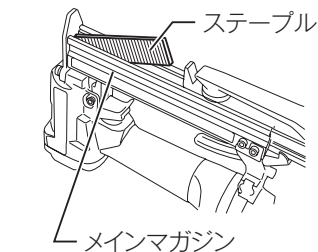
ステープルを装てんした状態でサブマガジンを不用意に開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にステープルが落下すると事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。



- ・ 次にステープルの足を上にして、メインマガジンに入れてください。
- ・ サブマガジンを元に戻し、ロックレバーを掛けてください。



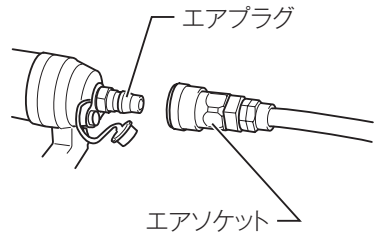
注

- ・ 指定以外のステープルを使用しないでください。ステープルやステープルの連結が変形したものは使用しないでください。マガジン内に異なるサイズのステープルを同時に装てんしないでください。
 - ・ ステープルづまり、故障の原因になります。

使い方

エアホースの接続

- ・ トリガをロックし、本製品のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



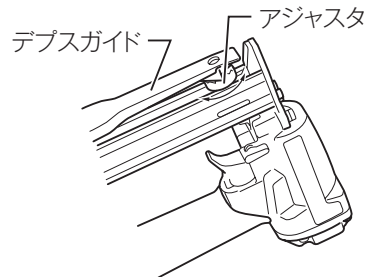
ステーブルの打ち込み深さの調整について

⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると、事故の原因になります。

- ・ アジャスタを回転させると、デプスガイドの高さが5段階に変わりますので、ステーブルの打ち込み具合をワンタッチで調整できます。1段階で約0.6 mmの調整が行えます。



使い方

空打ち防止機構について

⚠ 警告

サブマガジンを開くと空打ち防止機構が解除されますので、必ずトリガをロックし本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って空打ちした場合に事故の原因になります。

- ・ 本製品はマガジン内のステープルが無くなると空打ち防止機構が作動してトリガが引けなくなり、空打ちを防止します。

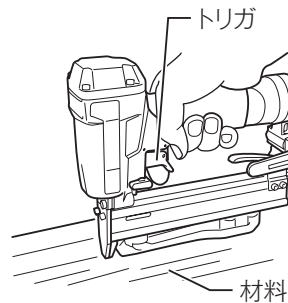
打ち込み方法について

⚠ 警告

必ず射出口を材料に当ててトリガを引いてください。

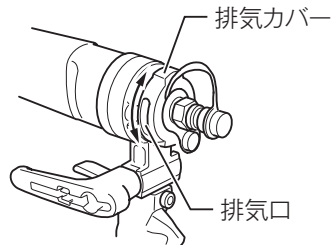
- ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

- ・ 射出口を材料に当て、トリガを引いてください。ステープルが打ち込まれます。



排気の方法について

- ・ 排気の方法は排気カバーを手で回すことにより、360度回転できます。



使い方

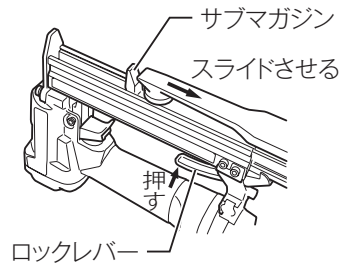
ステープル詰まりの直し方

⚠ 警告

作業に入る前に必ずトリガをロックし本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると、事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。射出口が露出しますのでつままったステープルを取り除いてください。



フックについて

⚠ 警告

フックを使用する場合は必ずトリガをロックし、本製品からエアホースをはずしてください。

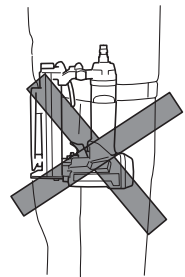
- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにはけしないでください。

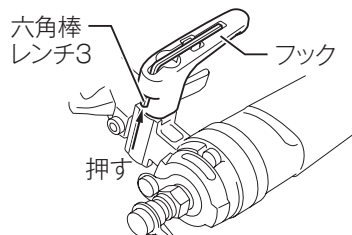
- ・ フックがはずれて本製品が落下した場合、事故の原因になります。

フックの取り付けネジは、確実に締め付けてください。

- ・ フックがはずれて本製品が落下したり、事故の原因になります。



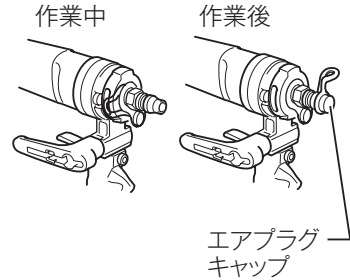
- ・ フックを利用すれば本製品を一時引っかけておくのに便利です。本製品に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。
- ・ 六角棒レンチ3は短い方の先端を押し、フックからはずしてください。



保守・点検について

作業後の保管

- ・ 本製品内にごみやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときには、エアホースをはずし、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 作業後は防錆のためエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してから数回発射してください。
- ・ 湿気が多い所、直射日光の当たる所、粉じんが多い所は避けて保管してください。



純正オイルの使用

- ・ オイルは純正のオイルを必ず使用してください。作業終了後、これを行うことにより最良の状態を保つことができます。エアプラグより付属のタービン油を数滴注油してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881856D8
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)